

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	工事検査事業			会計	款	項目	大	小
				01	02	01	12	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	工事検査室			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	松丸 昌弘			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	工事請負業者・工事担当課	意図	工事請負契約に基づき履行されているか、長期間使用できる品質であるか検査する。工事の適正化と品質の向上について指導する。
事業内容	①契約図書のとおり出来形や品質が確保され、適正に契約が履行されているか本市工事検査規程に基づき検査する。②請負業者の適正な選定及び指導育成に資するため、本市工事成績評定要領に基づき対象工事の成績を評定する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成5年度から工事成績評定要領を制定し、現在まで何回か改正を経て、工事検査及び工事の成績評定を行ってきた。最近の工事成績評定平均点及び評定点の工事の割合について見ると、平成28年度より平成29年度では平均点が0.8点下がっているものの、平均点に近い点数帯の件数は増加している傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	工事成績評定点	72.30	72.70	71.90	点
②	75点以上の評定点の割合	31.70	35	30	%	↑↑	評定点75点以上の件数/完成検査件数
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	個々の検査において、工事書類の作成や現場の仕上がり状況について指導するなどし、請負業者の質の向上に努めている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 工事成績評定点の平均値は、平成28年度と比較し0.8点下がっている。これは、75点以上の件数は増加していないこと、69点以下の件数が微増していることなどが考えられるが、平均点に近い点数帯は増加していることから、全体的な工事出来高内容の悪化とは思われない。今後においても正確な公共工事の達成のために、請負業者に対して工事の出来形や品質向上に繋がる指導を実施していく。			
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,523,448	11,804,940	11,676,073				
事業費(b)(円)	221,448	209,940	204,073				
うち一般財源	221,448	209,940	204,073				
職員給与費(c)(円)	12,302,000	11,595,000	11,472,000				
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)	2.00	2.00	2.00				
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	①工事担当課へ文書で工事の早期発注を要請する。 ②流山市優良建設工事表彰要綱に基づき、優良建設業者の表彰を行う。	③取組の課題	①年度末の工事検査の集中解消 ②流山市優良建設工事表彰の早期実現
②今年度(H29)に実施した取組	①工事担当課へ文書で工事の早期発注を要請した。 ②流山市優良建設工事表彰要綱に基づき、優良建設業者の表彰を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	①工事担当課へ工事の早期発注を要請する。 ②工事の平準化を図るよう工事担当課へ指導通知する。